

第39回卒業証書授与式～卒業（たびだち）のとき～

昨日は春らしい穏やかな日でした。卒業生のみなさんにとっては、コロナ禍で制限の多かった中学校3年間でしたが、創意と工夫をして、これらの逆境に負けず、力を合わせて乗り越えてきました。卒業生のみなさんは、「雨の後には美しい虹がかかる」ことをこれまで学んできました。逆境や困難を乗り越えた先の美しい虹のかかる風景を、仲間と一緒に見る時が必ずやってくることを疑わず、これからも一日一日を大切にしていってほしいと思います。『念ずれば 花ひらく 自分の花を咲かせよう』、みなさんのこれからの人生が前途洋々で幸多かれと祈っています。卒業生107名のみなさん、ご卒業おめでとうございました。



【答辞】

あなたにとって私はどんな友達でしたか？どんなクラスメイトでしたか？どんな生徒でどんな先輩，どんな生徒会長でしたか？そしてどんな娘でしたか？

勝村陽葉という一人の人間でありながら，たくさんの顔を持つ私。不安やプレッシャーに押しつぶされそうになって自分を見失いかけた私。行事を大成功へと導き，達成感に酔いしれた私。最後の部活動の大会に全力を注いだ。勝利をつかめず悔し涙を流した私。友達との何気ない会話に大笑いしている私。家族とのひとときに心癒やされている私。どれも私に違いない。しかし，そのことに悩み苦しんだときもあった。もがいたときもあった。しかし，この玉幡中学校で過ごした3年間で，私なりの答えが見えてきたと思っている。この3年間を振り返り，今卒業という節目を迎えたこの日に私の想いを伝えたい。

生徒会長としての私は，人前に立つのが今でも苦手だ。慣れることはないし，緊張せずにできることなんてほとんどない。だから，最初は生徒会長でいることがとても怖かった。「やる」と言ったのにできなかつたら，失敗したら，みんなや先生たちの期待に応えられなかつたら・・・生徒会長としての私は否定されてしまう。嫌われてしまう。そんな不安がいつも頭の中に巣食っていた。だから，「自分がやらなきゃ」とか「一人でやらなきゃ」という思考が頭の中を埋め尽くしてしまっていた。私一人だけが頑張るのか？完璧に物事をこなせなければ会長と言えないのか？嫌われないよう行動することが正解なのか？そんなことを考える日々。助けてもらえない，励ましてもらえない，支えてもらえない・・・そうなることが怖かった。

でも，本当は違ったのだ。今の私にはわかる。「リーダーであるわたし」でいる必要なんてなかったのだ。「わたしというリーダー」であることが大切なのだ。人は役割や責任をもつと成長できる。しかし，誰かからみた自分（評価）を気にするあまり，自分という形を壊してはいけない。自分が自分らしくいられる形であるべきなのだ。私が生徒会長という大役を通して学んだことの一つである。

そしてもう一つ。それは，人は人との関わりの中でこそ，自分が存在する意味を感じていくことができるということだ。

3年生の国語の教科書に「誰かの代わりに」という文章が掲載されている。その中に「苦労はしばしば，独りで背負い切れるほど小さなものではありません。人と支え合うこと，応じあうことがどうしても必要になります。」という一文がある。これを最も実感したのが緑水祭だった。

みなさんの記憶に残っているだろう緑水祭。生徒会長としてやりきった達成感や充足感に満ちていた。最後の緑水祭。私は生徒会長として企画から携わった。完成にたどりつくまでには，たくさんの人の力や努力があったことを，いちばんよく知っているのは私だろう。多くの人にお褒めのことをたくさんいただいたが，むしろ感謝すべきは私のほうだと思った。私だけの力では見ることのできなかった景色は，人と人とのつながりや気持ちか，一緒に最高の景色を見せてくれたのだ。緑水祭だけではない。あいさつ活動もボランティアも合唱祭も。いつも頑張ってくれる人，協力してくれる人がいるから成り立つのだ。生徒会長として学んできた，たくさんしたこと。これからも大切にしていきたい。

私たちはもう卒業する。これから玉幡中学校を背負う在校生に伝えたいことがある。それは「正解を探すのではなく，自分で正解にする」中学校生活を送ってほしいということだ。これは，私が多くの決断や選択をしてきて大切だと思ったことだ。相手や周囲から求められ，自分の考えや正解を見失ってはいけないと思う。それでは自分というものが消えてしまう。

だからといって，自分を自分の考えを押し通せという意味ではない。一人ひとりが特別な存在なのだ。一人ひとりの個性を大切にしながら，充実した玉幡中学校での生活を楽しんでほしい。皆さんの活躍を楽しみにしています。

私は多くの人に支えてもらいながら生徒会長でいることができました。多くの人に認めてもらうために求められている私でいなくてはならないと考えていた私の考えは，みんなの温かさで変わりました。生徒会長の私，生徒の私，一人の人としての私，すべてを成長させてくれた玉幡中学校は最高の場所だ。そして，ともに過ごした赤学年の仲間，玉幡中学校のみんな，支えてくれた先生方，見守ってくれた家族。関わってくれたすべての人に心から「ありがとう」と言いたい。本当にありがとうございました。以上をもちまして答辞とさせていただきます。